

### 3 . 流域の社会状況

#### 3 - 1 土地利用

##### 1 ) 土地利用の現況

流域の土地利用は、山林が全体の約 56% を占め、水田や畑・果樹園等の農地が約 21%、宅地等市街地が約 23% の割合となっている。

近年、久留米市、鳥栖市や日田市のほか、下流域北部の福岡都市圏に近い地区で、都市化・宅地化の進展が顕著になっている。

表3 - 1 土 地 利 用 の 現 況

項 目	面 積 (km <sup>2</sup> )	全面積に占める割合
流 域 面 積	2,860.0	-
森 林 地 域	1,600.1	56 %
耕 地 面 積 ( 田 ・ 畑 )	590.1	21 %
宅 地 そ の 他	669.8	23 %

(出典)第7回 河川現況調査(平成7年度末)

表3 - 2 (1) 日 田 市 土 地 利 用 面 積 の 推 移 単位: km<sup>2</sup>

年 項 目	昭和 40 年	昭和 50 年	昭和 60 年	平成 7 年	平成 12 年
山 林 ・ 原 野	207.9	(0.99) 206.6	(0.99) 206.8	(1.00) 208.7	(1.00) 207.0
田 ・ 畑	25.6	(0.90) 23.0	(0.84) 21.6	(0.93) 23.7	(0.88) 22.4
宅 地	4.4	(1.43) 6.3	(1.68) 7.4	(2.16) 9.5	(2.25) 9.9
そ の 他	32.8	(1.06) 34.9	(1.07) 35.0	(0.83) 27.3	(0.91) 29.8

表3 - 2 (1) 久 留 米 市 土 地 利 用 面 積 の 推 移 単位: km<sup>2</sup>

年 項 目	昭和 40 年	昭和 50 年	昭和 60 年	平成 7 年	平成 12 年
山 林 ・ 原 野	10.0	(1.02) 10.2	(1.30) 13.0	(1.40) 14.0	(1.32) 13.2
田 ・ 畑	34.2	(1.46) 49.8	(1.36) 46.6	(1.24) 42.3	(1.16) 39.8
宅 地	9.9	(1.87) 18.5	(2.15) 21.3	(2.38) 23.6	(2.57) 25.4
そ の 他	0.4	(2.50) 1.0	(4.50) 1.8	(8.75) 3.5	(9.75) 3.6

注) ( ) は昭和 40 年に対する割合

面積は課税対象のみ(官公有地、公共用地、墳墓地、公共用道路などを除く)

(出典)日田市は大分県統計年鑑、久留米市は福岡県統計年鑑

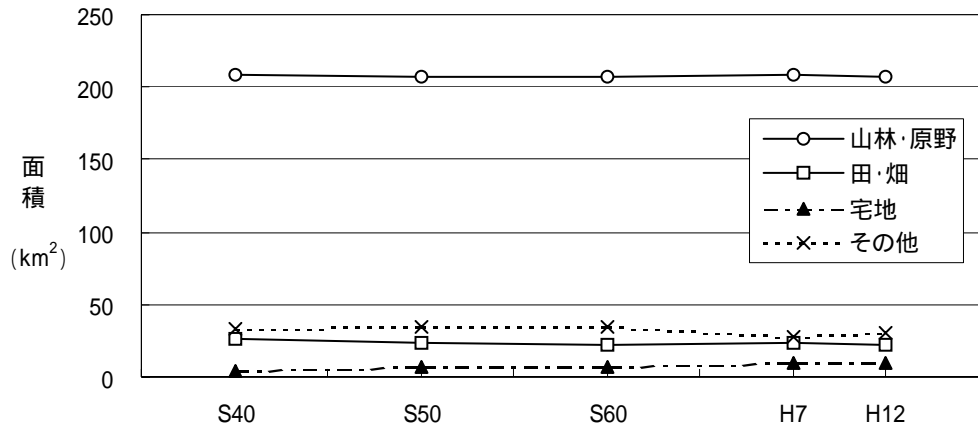


図3 - 1 ( 1 ) 日田市土地利用の推移

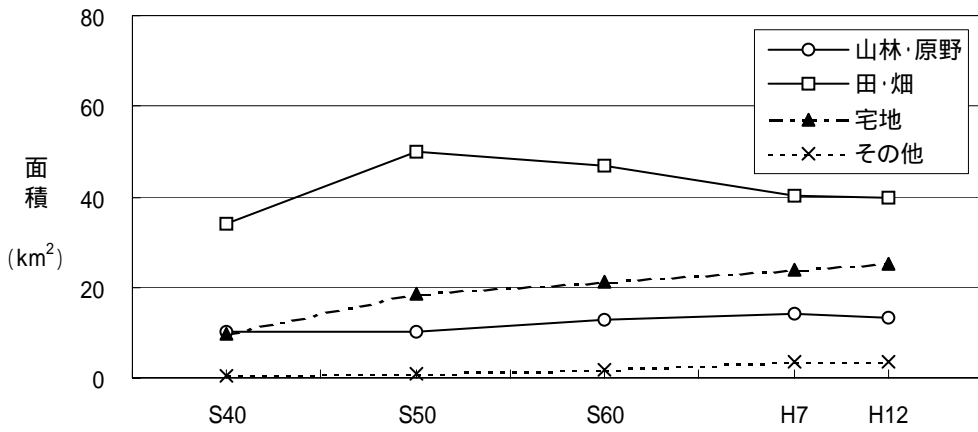
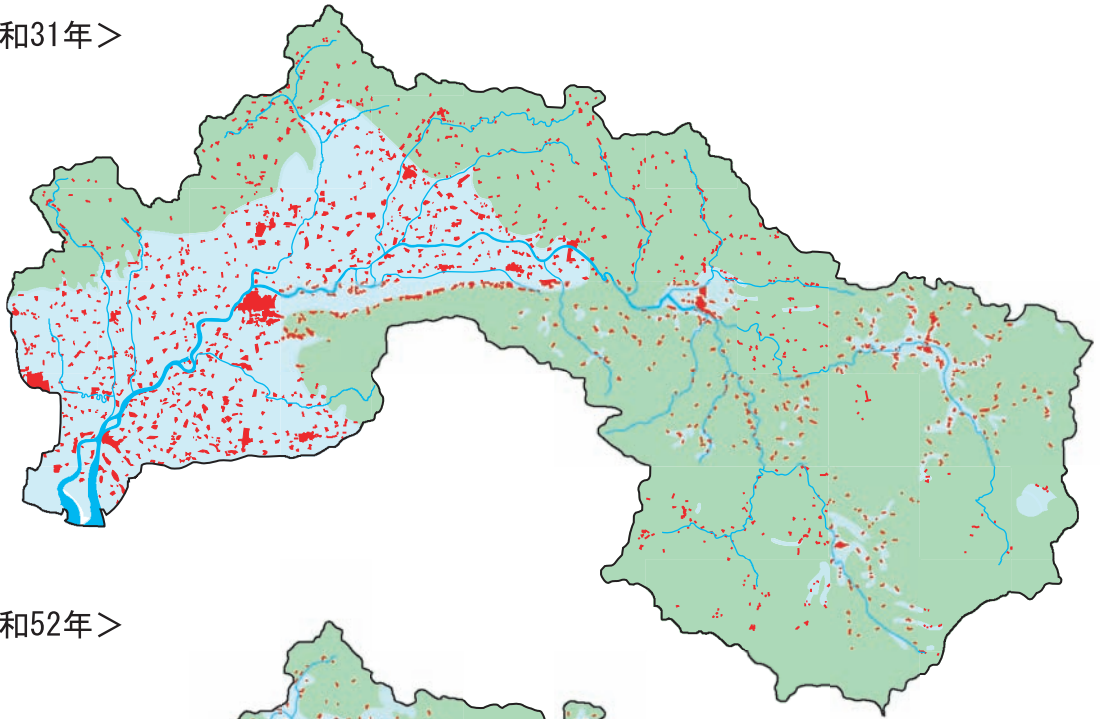
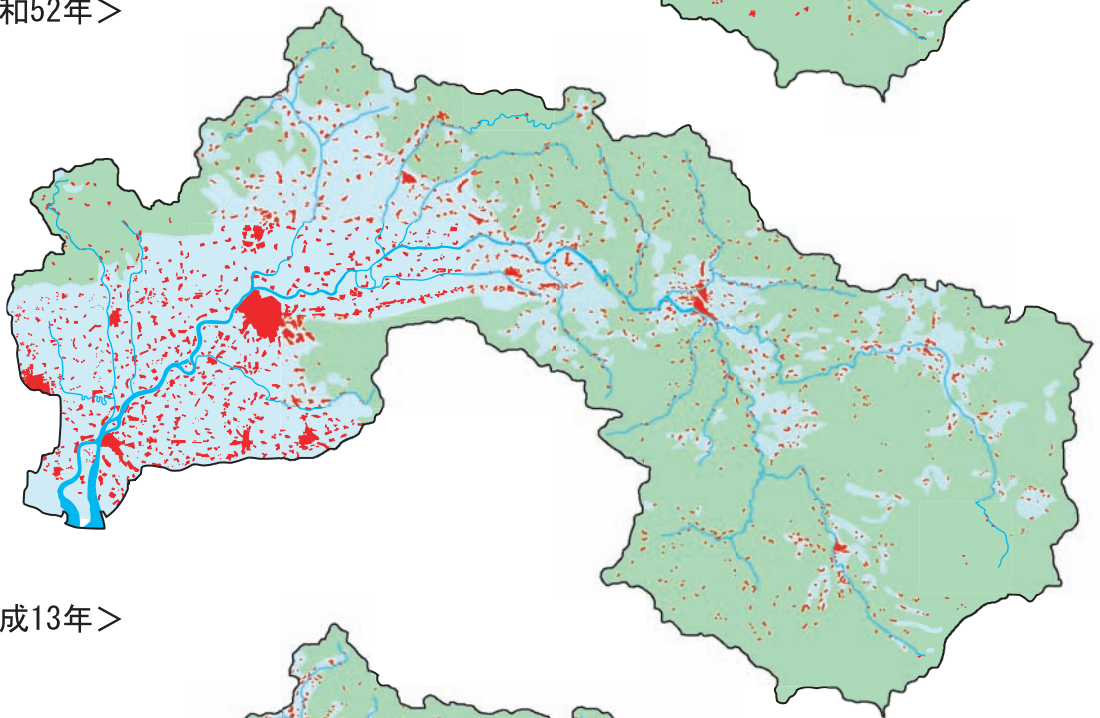


図3 - 1 ( 2 ) 久留米市土地利用の推移

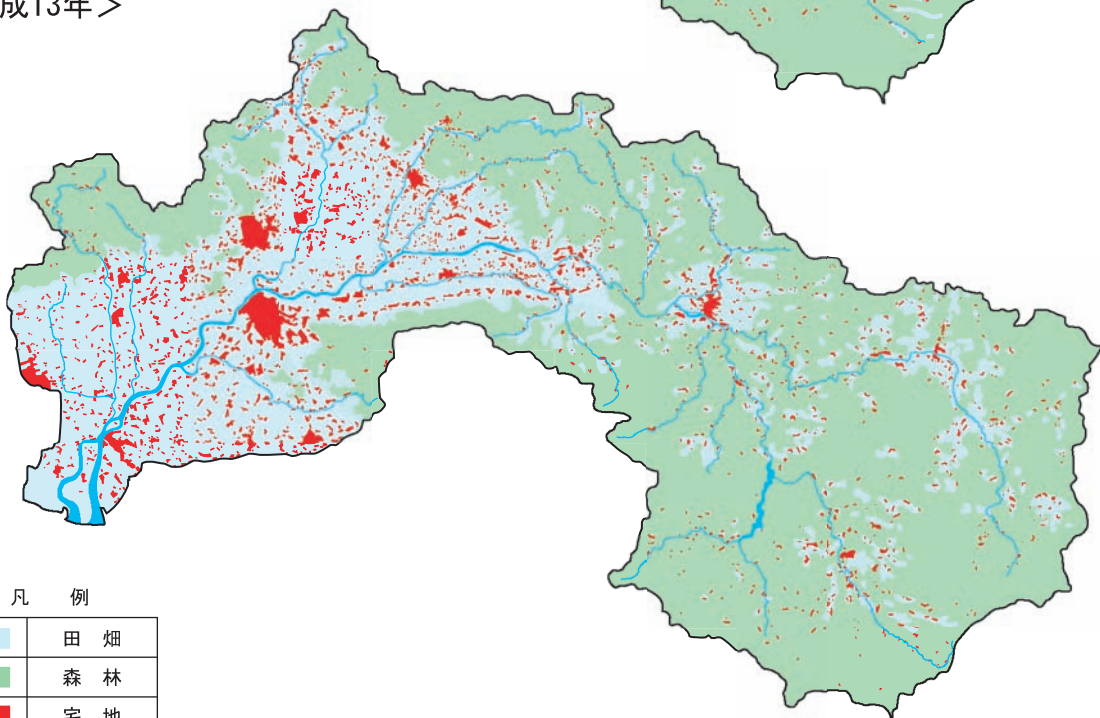
<昭和31年>






<昭和52年>



<平成13年>



凡 例

	田 畑
	森 林
	宅 地

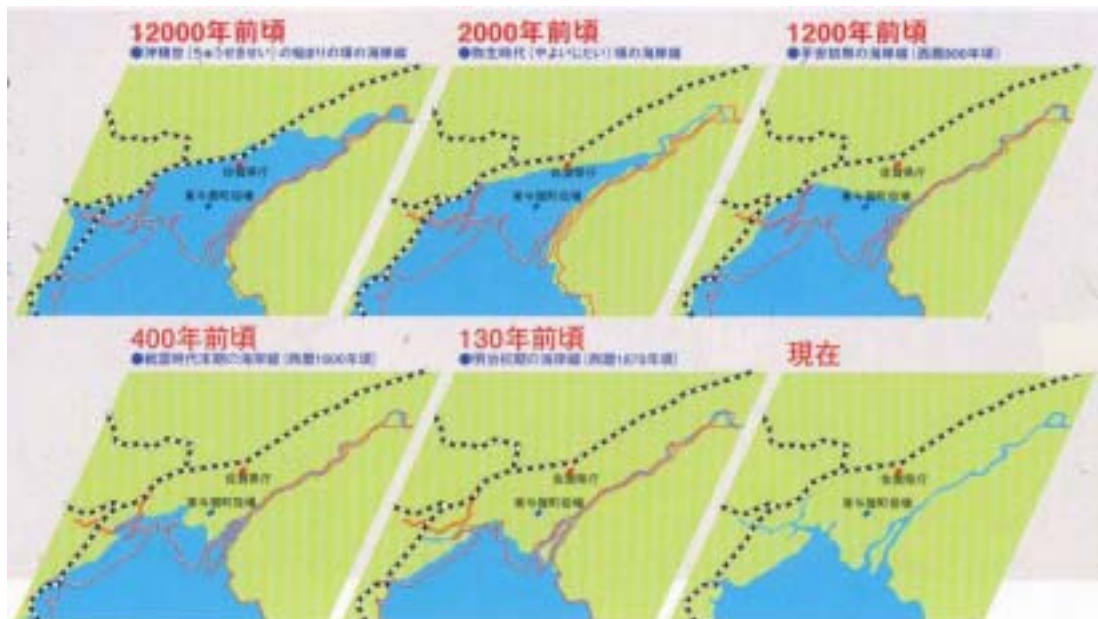
0 5 10 15 20 km

图 3 - 2 筑後川流域土地利用現況图

## 2) 干拓の歴史

筑後川の下流域は、有明海の干拓によって開発されてきたもので、佐賀県側（佐賀藩）には「搦（からみ）」「籠（こもり）」の地名が、また福岡県側（柳川藩など）には「開（ひらき）」などの地名にその歴史が残されている。

- ・「籠（こもり）」は、古い時代（寛文年間 1640～1665）の干拓地で、竹で編んだ円筒形のカゴに土や石を入れたものを並べて堤防を築きながら新地開発を行ってきたことからきた言語であり、「搦（からみ）」より年代が古い。
- ・「搦（からみ）」は、縄が木に絡みつくとという意味で、堤防予定地に松丸太の杭を打ち込み、粗朶や竹などを絡みつけて、ガタ土が付着して堆積するのを待ち、茅や葦が生え地盤が高くなった時点で突き固めて堤防を築いたと言われている。
- ・「開（ひらき）」は、開拓、開墾、開発を意味しているものと言われている。



### 3 - 2 人口

筑後川流域の関係自治体は、日田市や久留米市をはじめ 12 市 37 町 7 村から成り、平成 2 年現在で流域内人口は約 107 万人、氾濫防御区域内人口は約 71 万人となっている。

表 3 - 3 流域内人口の推移

年次区分	昭和 45 年 (人)	昭和 50 年 (人)	昭和 55 年 (人)	昭和 60 年 (人)	平成 2 年 (人)	平成 7 年 (人)	平成 12 年 (人)	人口密度 (人 / km <sup>2</sup> )
流域内	*912,926	978,427	1,037,010	1,078,966	1,064,048			372.0
想定氾濫区域内	*540,212	554,186	668,170	705,089	705,615			1,067.8
福岡県	4,027,416	4,292,963	4,553,461	4,719,259	4,811,050	4,933,393	5,015,699	1,009.0
佐賀県	838,468	837,674	865,574	880,013	877,851	884,316	876,654	359.4
大分県	1,155,566	1,190,314	1,228,913	1,250,214	1,236,942	1,231,306	1,221,140	192.7
熊本県	1,700,229	1,715,273	1,790,327	1,837,747	1,840,326	1,859,793	1,859,344	251.1

注) \* は昭和 43 年の人口

(出典) 流域内人口、想定氾濫区域内人口は「河川現況調査」  
各県人口は「各県統計年鑑」

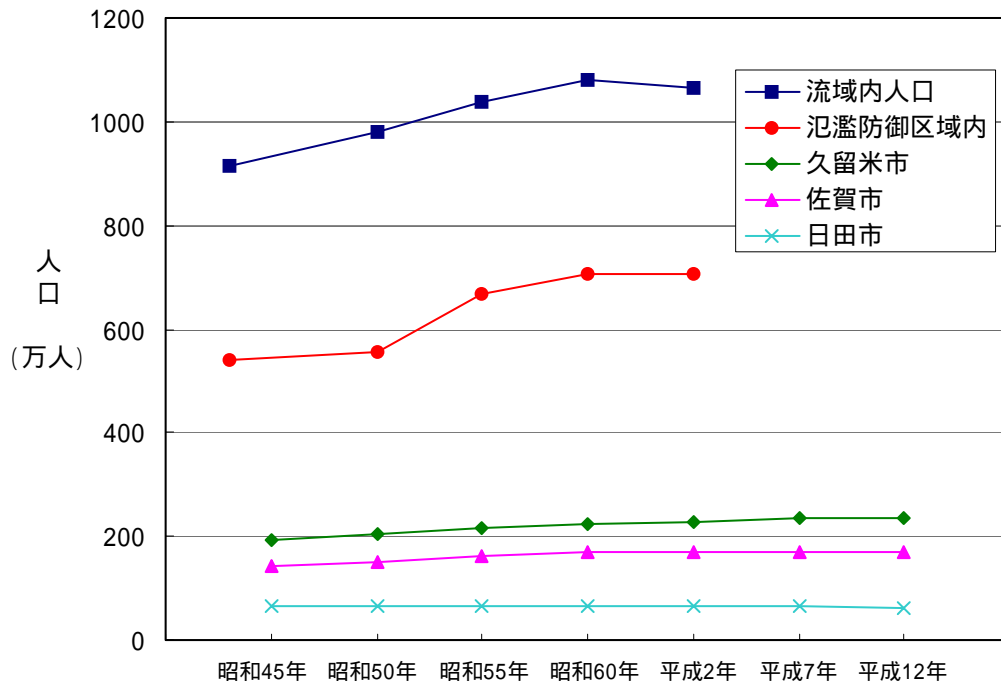


図 3 - 3 流域内人口と主要都市人口の推移

表3-4 流域関連人口の推移

県名	市町村名	土地面積 (km <sup>2</sup> )	人口(人)							人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
			昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	
福岡県	久留米市	124.7	194,186	204,482	216,972	222,847	228,347	234,433	236,529	1,897.1
	甘木市	167.2	43,259	42,725	42,863	43,575	43,034	42,702	42,648	255.1
	大川市	33.6	51,637	50,395	49,537	47,837	45,704	43,341	41,337	1,229.9
	八女市	39.3	38,848	38,843	39,408	40,286	39,816	39,818	39,614	1,007.0
	筑後市	41.9	38,688	39,520	41,698	43,359	43,835	45,289	47,350	1,131.4
	柳川市	37.2	45,789	45,057	45,587	44,942	43,791	43,245	41,815	1,123.2
	筑紫野市	87.7	38,876	47,741	57,966	63,242	70,303	81,988	93,031	1,060.4
	小郡市	45.5	30,469	36,914	41,057	43,811	47,116	50,612	54,584	1,199.6
	太宰府市	29.6	26,155	36,553	50,273	57,737	62,402	64,913	66,099	2,232.3
	朝倉町	34.6	12,231	11,829	11,735	11,658	11,251	10,868	10,415	301.4
	杷木町	45.0	11,133	10,428	10,025	9,895	9,439	9,023	8,649	192.3
	三輪町	21.7	9,029	9,323	10,335	10,582	10,680	11,706	12,594	580.1
	夜須町	45.5	9,708	10,396	11,938	13,286	13,892	15,372	16,329	359.1
	浮羽町	89.3	19,217	18,663	18,884	18,925	18,342	17,634	16,837	188.6
	吉井町	28.3	18,084	17,824	17,878	17,920	17,568	17,545	17,211	608.4
	田主丸町	51.0	23,106	22,315	22,437	22,553	22,230	21,775	21,532	422.3
	北野町	20.5	11,739	12,207	13,384	14,424	15,294	17,133	17,404	849.4
	大刀洗町	22.8	12,769	12,773	13,203	13,576	14,098	14,755	15,232	667.2
	三瀧町	16.1	12,123	12,359	13,523	14,477	14,731	15,406	15,462	960.4
	城島町	17.6	14,057	13,777	13,975	14,273	14,063	13,994	13,946	793.3
大木町	18.4	12,885	12,528	12,721	13,177	13,232	13,525	13,863	752.2	
広川町	37.9	15,057	15,492	17,154	17,740	18,629	19,437	19,774	521.6	
上陽町	59.3	5,834	5,670	5,483	5,240	4,953	4,508	4,223	71.2	
小石原村	29.4	1,538	1,457	1,407	1,394	1,379	1,262	1,221	41.6	
宝珠山村	22.6	2,652	2,362	2,187	2,166	1,992	1,825	1,729	76.6	
熊本県	小国町	137.0	12,509	11,228	10,813	10,464	9,854	9,413	8,954	65.4
	南小国町	115.9	6,029	5,462	5,319	5,221	4,973	4,818	4,657	40.2
	阿蘇町	199.4	21,551	20,956	20,655	20,328	19,876	19,190	18,667	93.6
	一の宮町	105.5	11,655	11,265	11,150	11,089	10,700	10,351	10,054	95.3
佐賀県	佐賀市	103.8	143,454	152,258	163,765	168,252	169,963	171,231	167,955	1,618.7
	鳥栖市	71.7	47,369	50,733	54,254	55,791	55,877	57,414	60,726	846.6
	諸富町	12.0	10,803	11,418	12,239	12,463	12,529	12,482	12,086	1,005.5
	川副町	46.5	20,589	19,913	20,285	20,234	19,810	19,715	19,037	409.5
	大和町	55.4	16,253	16,864	18,039	19,327	20,222	21,507	21,956	396.2
	神埼町	39.3	16,854	16,513	17,377	17,727	18,047	19,231	19,700	501.1
	千代田町	24.8	11,887	11,846	11,960	12,281	12,270	11,883	12,055	486.7
	三田川町	10.9	8,838	8,704	8,859	9,208	9,670	9,578	9,532	878.5
	三根町	16.4	8,950	8,717	8,674	8,516	8,291	7,935	7,615	465.2
	北茂安町	16.6	8,842	9,360	10,574	11,277	11,409	11,610	11,482	690.9
	中原町	18.9	6,962	8,087	8,509	8,966	9,002	9,080	9,079	480.4
	基山町	22.1	9,735	11,023	11,501	13,495	14,455	18,444	19,176	866.1
	上峰町	12.8	5,143	5,910	6,682	6,907	7,534	8,210	8,672	678.0
	東脊振村	33.1	5,026	5,626	5,647	5,703	6,008	6,053	6,510	196.7
脊振村	60.9	3,154	2,721	2,478	2,331	2,185	1,935	1,893	31.1	
大分県	日田市	269.2	64,866	63,969	65,358	65,730	64,695	63,849	62,507	232.2
	大山町	45.7	5,118	4,701	4,716	4,727	4,373	4,226	3,910	85.5
	天ヶ瀬町	101.8	9,614	8,907	8,437	8,169	7,698	7,247	6,660	65.4
	玖珠町	286.4	23,828	22,369	22,775	22,079	20,907	19,659	18,988	66.3
	九重町	271.4	16,324	14,839	14,407	13,672	12,848	12,022	11,566	42.6
	湯布院町	127.8	12,025	11,371	11,905	12,005	11,725	11,521	11,407	89.3
	庄内町	140.3	12,563	11,658	11,164	10,898	10,235	9,886	9,317	66.4
	久住町	142.7	6,606	5,919	5,538	5,311	5,116	4,850	4,725	33.1
	山国町	119.9	5,762	4,975	4,659	4,415	4,069	3,794	3,452	28.8
前津江村	79.0	2,380	2,164	2,004	1,907	1,834	1,687	1,646	20.8	
中津江村	81.9	2,870	2,140	1,805	1,587	1,505	1,360	1,338	16.3	
上津江村	88.5	2,254	1,768	1,560	1,535	1,475	1,407	1,308	14.8	
合計		4024.3	1,238,882	1,275,017	1,344,738	1,380,537	1,395,276	1,423,697	1,436,058	29,128.8

(出典) 福岡県統計年鑑, 熊本県統計年鑑, 佐賀県統計年鑑, 大分県統計年鑑

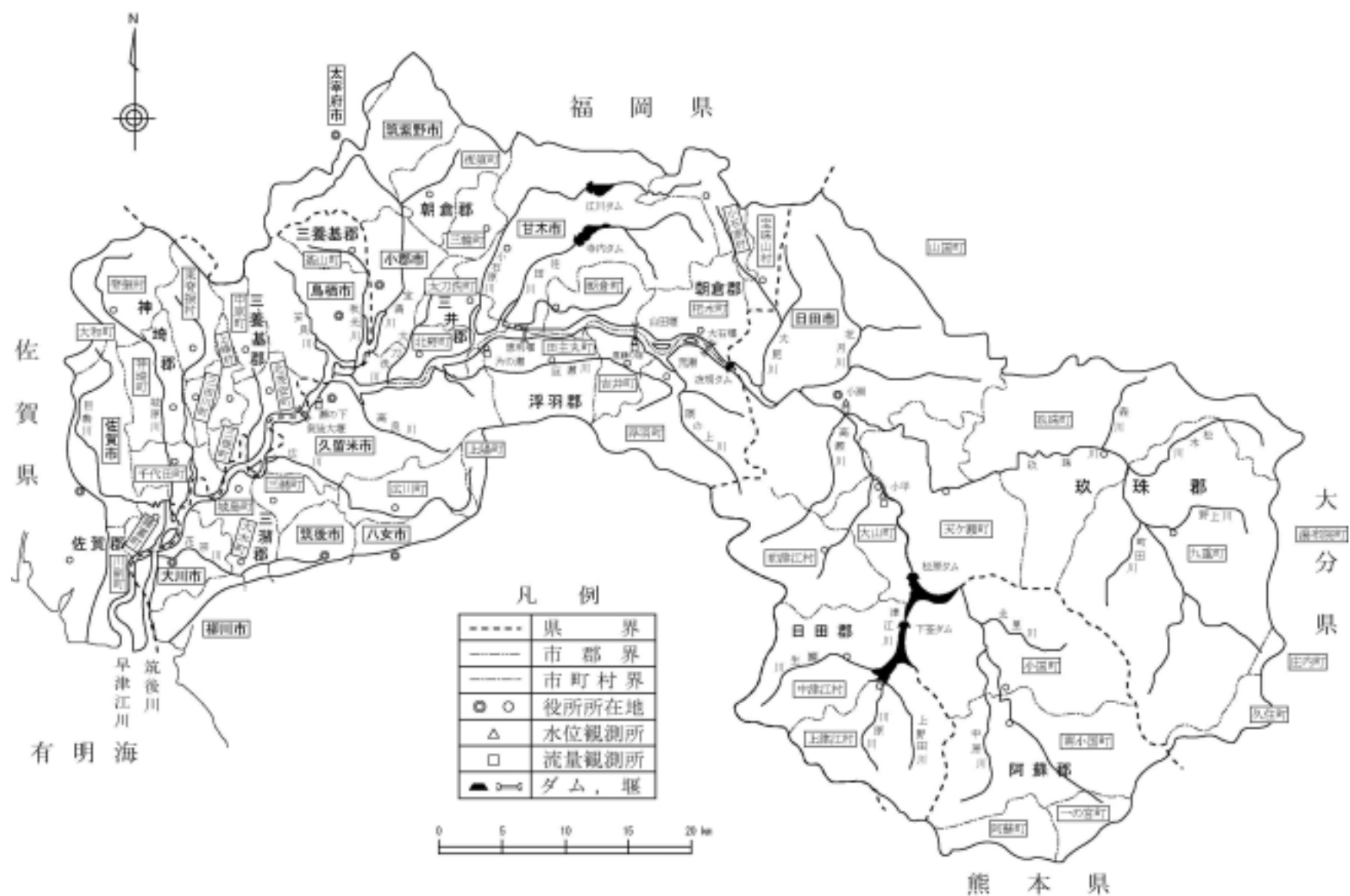


図3-4 筑後川流域関連市町村位置図

### 3 - 3 産業経済

流域内の総資産額は平成2年時点で約10兆9,363億円で、その約半分は家屋資産が占めている。

上流部は、森林資源が豊富に存在し、スギ・ヒノキの植林は日田美林として知られ、日田温泉・杖立温泉・筋湯温泉・黒川温泉など温泉を核とした観光産業が盛んである。玖珠川上流の筋湯地区では、地熱発電も行われている。また、中・下流部の広大な筑紫平野は九州を代表する穀倉地帯である。

水産業は、上・中流域のアユ・コイ・ウナギ等を中心とする内水面漁業と、下流の有明海海面漁業にわけられる。上流のアユ、中流のコイや下流の珍魚エツ、ムツゴロウ等、本地方独特の漁業形態もみられ、観光としても発展している。また、有明海ではノリ養殖が福岡、佐賀の広い範囲で行われ、両県の主要産業となっている。

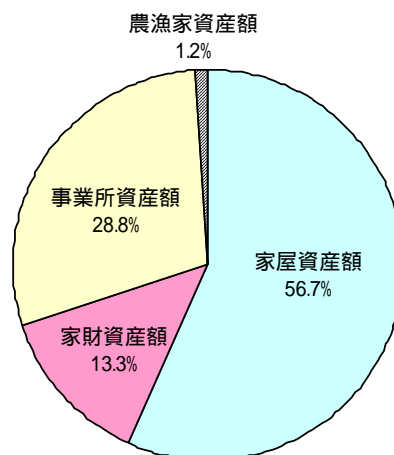
工業は、久留米市、鳥栖市、甘木市、大川市等を中心として発達しており、久留米市では、ゴム加工業が盛んで、全国第1位のゴム製品出荷量を誇っている。また、下流の大川市では家具産業が全国的に有名である。その他、久留米市の久留米餅、杷木町、田主丸町の柿やぶどうなどの果物栽培、城島町の酒造りが有名である。

流域内資産額 (単位：億円)

家屋資産額	家財資産額	事業所資産額	農漁家資産額	合計
(56.7)	(13.3)	(28.8)	(1.2)	(100.0)
62,056	14,198	31,518	1,291	109,363

注) ( ) 書きは合計に対する比率

(出典) 河川現況調査(基準年平成2年)



流域内資産の構成



表 3 - 5 就業者の産業構成 (単位:人)

項目	筑後川流域		日田市		久留米市	
	就業者数	割合(%)	就業者数	割合(%)	就業者数	割合(%)
第1次産業	65,688	12.8	2,504	7.9	4,312	3.9
第2次産業	149,181	29.1	9,842	31.3	23,585	21.3
第3次産業	297,220	58.1	19,162	60.8	82,907	74.8

(出典) 筑後川流域 ... 河川現況調査(基準年 平成 2 年)

日田市 ... 平成 13 年度 福岡県統計年鑑(基準年 平成 12 年)

久留米市 ... 久留米市役所ホームページ(基準年 平成 12 年)

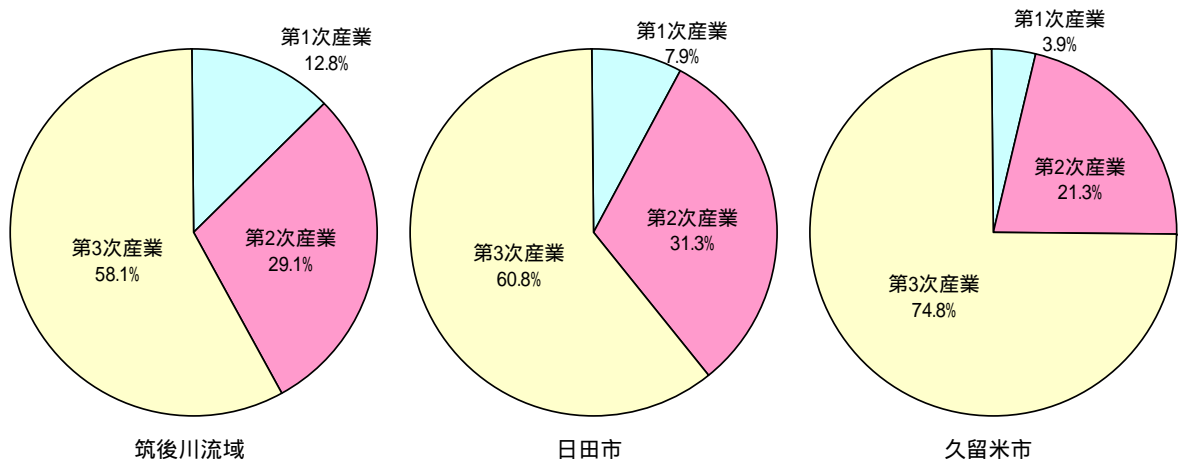


図 3 - 5 産業構成図



有明海のノリの養殖



家具産業（大川市）



酒造り（城島町）



ゴム産業（久留米市）



林業（日田市）

### 3 - 4 交通

筑後川流域では、九州における交通の南北線（縦断線）と東西線（横断線）が交差して、九州地方の人流・物流の要衝となっている。

鉄道は、北九州、福岡から熊本、鹿児島へ至るＪＲ鹿児島本線が流域下流部を南北に縦断し、久留米からは東へ流域のほぼ中央部を横断して大分に至るＪＲ久大本線を分岐し、鳥栖では西へ横断して長崎に至るＪＲ長崎本線を分岐し、さらに原田からは飯塚、直方を経て北九州市若松に至るＪＲ筑豊本線を分岐している。いずれも九州地方の幹線鉄道として、物資輸送に大きな役割を果たしている。また、流域中央部の久大本線夜明からは北へ田川を経て北九州市小倉に至るＪＲ日田彦山線が通じている。

また、西鉄大牟田線がＪＲ鹿児島本線と平行しながら流域を北部に縦断して福岡と久留米・大牟田を結んでいて、福岡都市圏と筑後川流域との人流に大きく貢献している。この線の宮の陣からは甘木線が分岐し、久留米と甘木を結ぶ通勤・通学の足となっている。

一方道路については、ＪＲ鹿児島本線及び西鉄大牟田線と平行して九州の大動脈である九州自動車道が流域を縦貫し、鳥栖ジャンクションでは流域を横断している九州横断自動車道と交差し、まさに道路交通の拠点となっている。

さらに、流域内には、下流部の国道３号や３４号、下流と上流を結ぶ２１０号や３８６号、上流部の２１２号や３８７号を始め、流域東端を通っている“やまなみハイウェイ”を含めて１８本の国道が走り、その国道から分岐して主要地方道や一般県道、市町村道が整備されており、地域の発展に重要な役割を果たしている。

また、流域最下流の有明海岸地区には佐賀空港が平成１０年に開港し、関東、関西方面へのアクセスが容易になった。

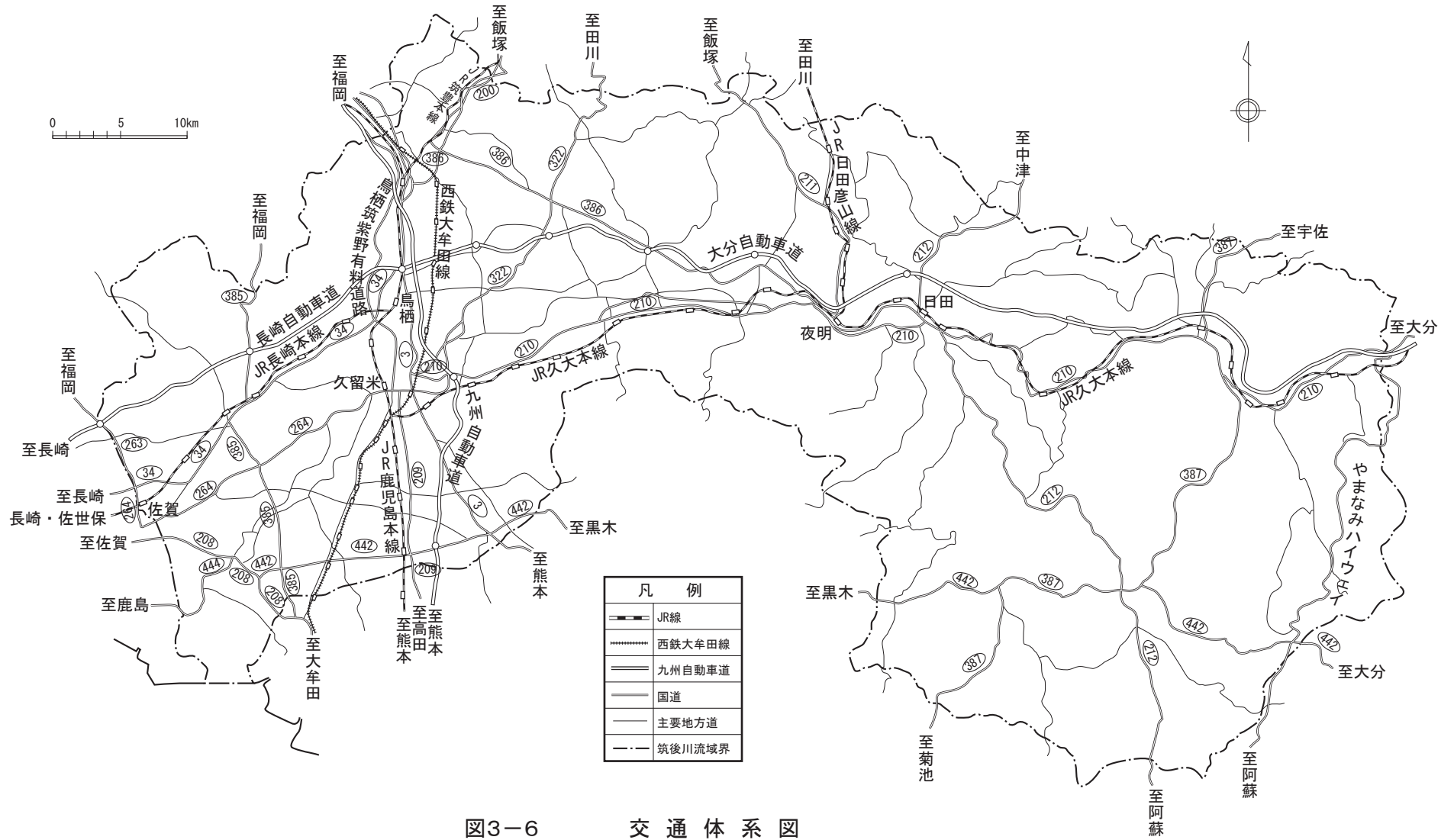


図3-6 交通体系図

## 3 - 5 将来構想

筑後川関連市町村の将来計画を示すと表3 - 5のとおりである。

表3 - 5 県・市町村の筑後川関連計画

No.	自治体名	計画名等	筑後川(水系)との関連
1 2 3	福岡県	第2次実施計画 福岡県21世紀のプラン	・筑後川・矢部川流域レクリエーション構想 ・筑後川中流域リゾートゾーン整備(寺内ダム周辺、秋月地区等) ・久留米市のリバーサイドパーク
4	久留米市	第3次久留米市総合計画	・筑後川両岸公園化計画
5	甘木市	第3次甘木市総合計画	・江川・寺内両ダム周辺の滞在型レクリエーション施設整備 ・筑後川流域レクリエーションリゾートゾーン整備
6	筑後市	筑後市総合計画	・クリークを利用した水辺公園整備
7	小郡市	第3次小郡市総合振興計画	・宝満川堤防サイクリングロード整備
8	筑紫野市	第3次筑紫野市総合計画	・兎ヶ原ダム周辺の公園整備
9	杷木町	第3次杷木町総合計画	・筑後川中流域リゾートゾーン整備における日迎の里基本構想
10	朝倉町	第2次朝倉町総合計画	・水車村構想
11	吉井町	第三次吉井町総合計画	・ルネッサンスリバー構想(巨勢川等の河川改修と合わせた親水公園等)
12		大谷川水辺プラザ整備計画	・大谷川における水辺プラザの計画
13	田主丸町	川原川水辺の楽校整備計画	・川原川における水辺の楽校の計画
14	浮羽町	浮羽町勢振興基礎調査報告書	・合所ダム周辺観光ポイント整備
15 16	城島町	第二次城島町総合計画 城島ハーモニープラン	・ヨットハーバー等観光開発 ・川のゾーンとして筑後川河川敷利用
17	三潞町	第三次三潞町総合計画	・幹線クリーク沿いのミニ公園化
18	広川町	広川町総合計画	・広川ダム周辺等の自然公園整備
19 20	佐賀県	佐賀県長期構想 「パワーアップ佐賀プラン21」	・のり等の養殖業振興 ・ダム周辺のレクリエーション事業
21 22	佐賀市	佐賀市総合計画	・クリークを活かした公園化 ・巨勢川調整池の公園化
23 24 25	鳥栖市	第3次鳥栖市総合計画	・大木川(コスモロード、蛸の里、水車の里) ・安良川(四阿屋周辺整備事業) ・沼川(金の水周辺整備)
26 27	千代田町	千代田町総合計画	・漁場の整備 ・クリークの一部公園化
28	北茂安町	北茂安町総合計画	・筑後川、寒水川、通瀬川の水辺環境整備
29 30 31	大分県	大分県長期総合計画 豊の国地域構築プラン21	・玖珠川の高水敷を整備し、運動公園として利用 ・河川特性に応じた内水面漁業のための生産基盤整備、資源保護等増殖対策 ・水郷日田のシンボル三隅川周辺と天領時代の歴史的町並みを活かした町づくり
32 33 34	日田市	第3次日田市総合計画 大肥川水辺プラザ整備計画	・レジャーと一体化した漁業の振興 ・三隅川とその一帯の拠点施設整備 ・大肥川における水辺プラザの計画
35	九重町	アクティブリバー整備計画	・河川敷の親水公園整備
36	玖珠町	玖珠川水系リバーサイドリフレッシュゾーン計画	・ホート、カヌーのための施設整備 ・親水公園整備
37 38	前津江村	第2次前津江村総合計画	・養殖施設設置等による内水面漁業の振興とフィッシング施設の整備 ・水辺景観を活用した観光振興
39 40	中津江村	中津江村基本構想・基本計画	・養殖施設設置等による内水面漁業の振興 ・下笠ダム湖及びその周辺の活用(河川プール、カヌー等)
41	大山町	大山川水辺プラザ整備計画	・大山川(筑後川)における水辺プラザの計画
42	天瀬町	天瀬町総合計画	・天ヶ瀬温泉付近玖珠川の遊歩道整備

(出典:各自治体資料、建設資料より作成)